

各学部の教育目標及び努力点

学校教育目標				
児童生徒の生命と人権を守るとともに、一人一人の教育的ニーズや特性・能力等に応じたきめ細かな教育を行い、自立や社会参加に必要な「生きる力」を培うために、自己のもつ能力や可能性を最大限に伸ばしながら「げんきで、なかよく、がんばる」児童生徒を育成する。				
	小 学 部	中 学 部	高 等 部	自立や社会参加に必要な「生きる力」の育成
学部目標	いろいろなことに興味・関心をもって生き生きと取り組み、自分の世界を広げていく児童を育てる。	小学部や小学校で身に付けた力を更に伸ばし、集団の中で主体的に考え行動する生徒を育てる。	自立・社会参加に向け、希望をもち自分の力を発揮して課題に挑戦しやり遂げる生徒を育てる。	
【げんき】	基本的な生活習慣を身に付け、笑顔で元気に活動する児童	心身の健康や身の回りの安全・防災について考え、望ましい生活習慣を身に付ける生徒	将来の生活に必要な生活習慣を確立し、心と体の管理ができる生徒	
健康な心と体の育成	○ 家庭と連携して生活リズムを整えとともに、基本的な生活習慣を身に付け自分ですりとする態度を育てる。 ○ 年間を通して運動、安全教育に取り組み、体力の維持向上を図るとともに、安全・安心な生活環境・学習環境を整える。 ○ 児童一人一人の人権を尊重し、自己肯定感を育む指導・支援に努める。	○ 生徒一人一人の基本的な生活習慣の確立・定着及び中学部生活上の課題の改善・克服を図る。 ○ 心身の健康の充実や身の回りの安全及び防災に関する知識の拡大や理解を促す。 ○ 個々の実態、学級の実態に応じて、安心・安全に学ぶことができる学習環境を整える。	○ 日常生活の指導や自立活動を中心とした、学校生活におけるより良い生活習慣の定着と確立。 ○ 体力作りやスポーツ大会への参加等を通した、体力の維持増進と生涯にわたりスポーツに親しもうとする意欲や態度の育成。	
【なかよく】	友達と仲良く関わり、自分の気持ちを伝えられる児童	自分や友達の存在を認め尊重し合い、進んで行動しながら友達や集団に関わる生徒	時と場、相手に応じて、適切にコミュニケーションができる生徒	
人と関わる力の育成	○ 友達を大切にし、自分や友達のよさや成長を認め合える学級作りに努める。 ○ 自分なりの方法で、意思を伝える手段を身に付けて、周りの人と仲良く主体的に関わる力を育てる。 ○ 交流学習や様々な集団学習を設定して人との関わりを深め、関わる楽しさや友達の思いやる心を育てる。	○ 人権教育に取り組むことで、生徒が自他の存在を認め、人権尊重の考えや気持ちをもって行動し、相互に関わり合う集団作りに取り組む。 ○ 家庭や福祉、医療の機関、地域社会との関係作りや情報収集・発信を行い、相互連携を深める。 ○ 挨拶や意思表示等、個々の実態に応じた表現方法に基づくコミュニケーション力を高める。	○ 交流学習や社会体験学習、販売会等の外部の人と関わりや交流を深め、コミュニケーション力を育成する機会の設定。 ○ 自他の個性を尊重し、相手の立場に立って考え、行動できる、相互扶助で共感的な人間関係の育成。 ○ 教育活動全般を通して、自己肯定感、自己有用感を高め、自己存在感の形成を図る。	
【がんばる】	好きなこと・得意なことを見付け、意欲的に学習に取り組む児童	学んだ知識や経験を生かしながら自分の希望や夢を基に、積極的に学習に取り組む生徒	知識や技能を培い、卒業後の生活で生かそうとすることが出来る生徒	「生きる力」の育成
学び続ける力の育成	○ 個別の指導計画に基づく、実態に即した授業作りと授業改善に努める。 ○ 日常生活に必要な基礎的基本的な力の定着を図るとともに、自ら考え行動できる学習活動を設定する。 ○ 様々な体験的学習を通して興味・関心を広げ、学ぶ楽しさや主体的に取り組む態度を育てる。	○ I C T機器を取り入れながら、これまでに学んだ知識や経験の定着及び拡大を図るための授業作りに取り組む。 ○ 個々の希望や夢の具体化に向けた進路学習の充実を図る。	○ 自己決定や自己選択、自己解決する機会を設定し、精神的自立を促進する。 ○ 将来の生活に必要な事柄（公共のマナー、ネットリテラシー、選挙等）を学んだり、体験したりする機会の設定。 ○ 規範意識の醸成、自己存在感の形成、共感的な人間関係形成、自己決定力を基にした自己指導能力の育成。	
働く力の育成	自分の役割や自分が決めたことに自信をもって取り組む児童 ○ 個々の実態に応じた役割を設定し、自分で最後までやり遂げる力を育てる。 ○ 学校・学級の決まりや約束を知り、守ろうとする態度を育てる。 ○ 学校生活の中での様々な活動を通して、自己決定・選択の場面を積極的に設定する。	自分の進路や働くことへの興味・関心をもち、将来に向けて働く力や意欲を高める生徒 ○ 将来の生活を見据えた個々の進路の具体化や職業生活に関する興味・関心を高める。 ○ 自立や社会参加に向けて、中学部段階で個々が求める働く力の育成に向けて意欲を高める。 ○ 学校・社会生活における決まりやマナーを身に付けて、日常生活の中で実践する力を育成する。	社会生活や職業生活の適応力を身に付け、実際の働く力や態度を身に付ける生徒 ○ 学校や社会の決まりを知り、それを意識しながら活動する機会を設定し、規範意識の醸成を図る。 ○ 作業学習、産業現場等における実習の実施と振り返りや自己分析等を通した働く力の育成と定着。 ○ 将来の生活で大切なことについて知り、それを実践しようとする意欲や態度の育成。	